

小2

国語

読解

こたえ

なまえ _____

読解 赤い かさ

_____ がつ _____ にち

つぎの ぶんしょうを よんで、 もんだいに こたえましょう。

- ① さくらが 校門の 下に いたのは なぜですか。 イ
- ア 友だちを まって いたから イ かさが なかったから ウ 雨が すきだから
- ② 太一のかさは、どんな かさでしたか。七字で ぬき出しましょう。(7字)
- 大きな赤いかさ
- ③ 二人は、どのように 歩きましたか。 イ
- ア 走って イ 水たまりを よけて ウ 手を つないで
- ④ 太一と 分かれた あと、さくらは 何を して いましたか。
- 小さくなるまで手をふっていた

学校の 帰り、きゆうに 雨が ふって きました。さくらは、かさを
もって いません。校門の 下で、空を 見上げて いました。
「いっしょに 入る？」と 声を かけて きたのは、同じ クラスの
太一です。太一は、大きな 赤い かさを さして いました。
「ありがとう。」さくらは、太一の かさに 入りました。二人は、水た
まりを よけながら、ゆっくり 歩きました。
さくらの 家の 前に つくと、太一は「じゃあ、また 明日。」と
言いました。さくらは、太一の 赤い かさが 小さく なるまで、手
を ふって いました。

